

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 15 日現在

機関番号：95401

研究種目：基盤研究(B)（海外学術調査）

研究期間：2014～2016

課題番号：26301029

研究課題名（和文）マニラ首都圏の底辺層の構造と変容 過剰都市からグローバル都市へ

研究課題名（英文）Structure and Transformation of Urban Bottom in Metro Manila: From Overurbanization to Globalized City

研究代表者

青木 秀男（Aoki, Hideo）

特定非営利活動法人社会理論・動態研究所・その他部局等・その他

研究者番号：50079266

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究で、次のことが明らかになった。スクオッターから海外出稼ぎ者が出ている。都市に移った先住民がスクオッターに定住している。スクオッター居住者、先住民からホームレスが現れている。また本研究は、次の分析を行った。まず、スクオッターの撤去について分析した。そして、居住者の住居喪失と生活崩壊について分析した。次に、海外出稼ぎ者の階層的出自について、また、国内移住者との繋がりについて分析した。次に、先住民を都市底辺層に組み込んで、その労働と生活について分析した。最後に、ホームレスの労働と生活について分析した。これらのいずれも、途上国都市の底辺層研究の開拓的な成果となった。

研究成果の概要（英文）：In this research, the followings were clarified. Squatters have overseas migrants. Indigenous people who migrated to the city settle in the squatters. Homelessness is coming from squatters' residents and indigenous people. Then, our research conducted the following analyses. First, we analyzed the compulsory eviction of the squatter. And we analyzed how people lost their residency and experienced the collapse of lives. Next, we analyzed the hierarchical origins of overseas migrants and the connection with domestic migrants. Next, we thought the indigenous people as a part of the urban bottom, and analyzed their jobs and lives. Finally, we analyzed jobs and the lives of homeless people. All of these analyses became a pioneering achievement of research on the urban bottom people.

研究分野：都市社会学

キーワード：都市底辺 新労務 新貧困 グローバル都市 マニラ首都圏

## 1. 研究開始当初の背景

- (1) 途上国都市の底辺層が変容している。非正規雇用と雑業層が膨張し、新たな職種が出現し、都市開発・ジェントリフィケーションにより居住構造が変容し、伝統型貧困に加えて、新しい貧困が現れている。スクオッターが膨張し、街頭ではベンダーやホームレスが増えている。地方からの移住者が減り、大都市に移住者二世・三世が増え、海外出稼ぎ者が増えている。
- (2) このような途上国都市の底辺層変容の実態は、もはや旧来の過剰都市化論では説明できない。ではどのようなパラダイムが必要だろうか。変容する都市底辺層の実像に迫る新たな理論が求められていた。

## 2. 研究の目的

- (1) 本研究は、途上国都市の底辺層の変容を、グローバル都市論を援用し、フィリピンのマニラ首都圏を舞台に、具体的に、ホームレス、スクオッター居住者(とくに女性)、出稼ぎ経験者、(マニラに移住した)少数民族を対象にフィールドワークを行い、労働(非正規/雑業)、居住(定住/非定住)、貧困(旧/新)、移動(国内/海外就労)について明らかにすることを目的とした。
- (2) そのために本研究は、底辺層の労働分析のために新労務(new labor)仮説を、貧困分析のために新貧困(new poverty)仮説を構築し、それらをフィールドワークにより検証することをめざした。

## 3. 研究の方法

- (1) 研究方法は、参与観察と面接調査の方法をとった。ホームレス、スクオッター居住者、海外出稼ぎ経験者、下層女性、先住民の生活実態と生存戦略について、観察と面接を行った。海外就労経験者、下層女性、スクオッター居住者はスクオッターで、先住民はスクオッターと街頭で、ホームレス

は街頭で観察と面接を行った。まず、研究代表者と分担者で仮説・方法・調査計画を定め、フィールドワークは、研究協力者を含めて、相互に連携をとって進めた。

- (2) 研究代表者は、調査全体を掌握・調整し、調査情報の交換、調査結果の解釈と理論化に集中した。

## 4. 研究成果

- (1) 本研究で、次のことが明らかになった。スクオッターから海外出稼ぎ者が出ている。先住民がスクオッターに定住している。スクオッター居住者、先住民からホームレスが出ている。
- (2) 本研究は、次の分析を行った。まず、スクオッターの撤去自体を分析した。そして、居住者の住居喪失と生活崩壊について分析した。次に、海外出稼ぎ者の階層的出自、国内移住者との関係について分析した。次に、先住民を都市底辺層に組み込んで分析した。最後に、ホームレスの労働と生活について分析した。いずれも、途上国都市の底辺層研究の開拓的な成果となった。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 11 件)

- (1) 青木 秀男「マニラのホームレス 仕事・貧困・家族」『大原社会問題研究所雑誌』大原社会問題研究所 査読あり 687号 2015年 66 - 82 頁
- (2) 青木 秀男「ホームレスの形成・空間・政治」『日本都市社会学会年報』日本都市社会学会 査読あり 33号 2015年 55 - 70 頁
- (3) 青木 秀男「新労務と新貧困層」仮説 グローバル都市マニラを事例として」『理論と動態』特定非営利活動法人社会理論・動態研究所 査読あり 8号 2015年 92 - 108 頁
- (4) 青木 秀男 “The Global City

- Hypothesis: Focusing on the New Labor, New Poverty and Urban Bottom,” *Social Theory and Dynamics*, Institute on Social Theory and Dynamics, 2016, vol.1: 116-132. 査読あり
- (5) 小ヶ谷 千穂 「<移住家事労働者>という存在を考える 『個人的なことはグローバルである』時代において」『理論と動態』特定非営利活動法人社会理論・動態研究所 査読あり 9号 2016年 2 - 19頁
- (6) 石岡 丈昇 ”The Habitus without Habitat: the Disconnect Caused by Uprooting during Gentrification in Metro Manila,” *Social Theory and Dynamics*, Institute on Social Theory and Dynamics, 2016, vol.1: 99-115. 査読あり
- (7) 石岡 丈昇 「マニラのスクオッター強制撤去 慣習行動の強制再編について」『理論と動態』特定非営利活動法人社会理論・動態研究所 査読あり 8号 2015年 110-127号
- (8) 石岡 丈昇 「貧困調査のクリティク(1) 『豊かさの底辺に生きる』再考」(宮内洋、松宮朝、新藤慶、打越正行と共著) 『北海道大学大学院教育学研究院紀要』北海道大学大学院教育学研究院 査読あり 120号 2014年 190-230頁
- (9) 石岡 丈昇 「新たな貧困調査研究の構想のために 日本国内の貧困研究の再検討から」(宮内洋、松宮朝、新藤慶、打越正行と共著) 『愛知県立大学教育福祉学部論集』愛知県立大学教育福祉学部 査読あり 62号 2014年 123-135頁
- (10) 太田 麻希子 「マニラにおける外貨獲得産業の転換と女性労働へのインパクト BPO 産業の影響を中心に」『アジア経済』アジア経済研究所 査読あり 57巻 4号 2016年 2 - 40頁
- (11) 吉田 舞 「ジェントリフィケーションと都市底辺労働の階層化 マニラのストーリー・ベンダーを事例として」『理論と動態』特定非営利活動法人社会理論・動態研究所 査読あり 9号 2016年 55 - 72頁
- [学会発表](計 10件)
- (1) 青木 秀男 「グローバル都市マニラと都市底辺層(1) 構造と変容への視座転換」日本社会学会 2016年 10月 8日 九州大学
- (2) 青木 秀男 “A Theoretical Hypothesis and Homelessness: Structure and Transformation of Urban Bottom of Metro Manila” シンポジウム(国際学会) 2016年 11月 4日 フィリピン: Ateneo de Manila University
- (3) 小ヶ谷 千穂 「グローバル都市マニラと都市底辺層(2) スクオッターにおける女性の就労経験からみる新国際分業・再生産労働の国際分業のローカルな解釈」日本社会学会 2016年 10月 8日 九州大学
- (4) 小ヶ谷 千穂 ”Women’s Experience in an Informal Settlement: Structure and Transformation of Urban Bottom of Metro Manila” シンポジウム(国際学会) 2016年 11月 4日 フィリピン: Ateneo de Manila University
- (5) 石岡 丈昇 「グローバル都市マニラと都市底辺層(3) スクオッター強制撤去・再居住・階層分化」日本社会学会 2016年 10月 8日 九州大学
- (6) 石岡 丈昇 “Gentrification and Displacement in Metro Manila: Structure and Transformation of Urban Bottom of Metro Manila” シンポジウム(国際学会) 2016年 11月 4日 フィリピン: Ateneo de Manila University
- (7) 太田 麻希子 「グローバル都市マニラ

と都市底辺層(4) 周縁のスクオッター  
における新しい女性サービス労働者」日  
本社会学会 2016年10月8日 九州大  
学

(8) 太田 麻希子 “Integration of Urban  
Fringe to the Global City: Structure  
and Transformation of Urban Bottom  
of Metro Manila” シンポジウム(国際  
学会)2016年11月4日 フィリピン:  
Ateneo de Manila University

(9) 吉田 舞 「グローバル都市マニラと都  
市底辺層(5) ジェントリフィケーショ  
ンと都市底辺労働」日本社会学会 2016  
年10月8日 九州大学

(10) 吉田 舞 “Gentrification and  
Stratification of Street Jobs in an  
Urban Setting: Structure and  
Transformation of Urban Bottom of Metro  
Manila” シンポジウム(国際学会)2016  
年11月4日 フィリピン: Ateneo de  
Manila University

〔図書〕(計2件)

(1) 石岡 丈昇(岸雅彦・丸山里美と共著)  
有斐閣 『質的社会調査の方法 他者の合  
理性の理解社会学』2016年 262頁

(2) 小ヶ谷 千穂 有信堂高文社 『移動を  
生きる フィリピン移住女性と複数のモ  
ビリティ』2016年 272頁

〔その他〕

(1) 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究  
所 <https://www.istdjapan.org/>

(2) 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究  
所  
<https://www.facebook.com/istdjapan/>

## 6. 研究組織

(1) 研究代表者  
青木 秀男(AOKI Hideo)  
特定非営利活動法人 社会理論・動態研  
究所・研究部・研究員  
研究者番号:50079266

(2) 研究分担者  
小ヶ谷 千穂(OGAYA Chiho)  
フェリス女学院大学・文学部・教授  
研究者番号:00401688

(3) 研究分担者  
石岡 丈昇(ISHIOKA Tomonori)  
北海道大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号:10515472

(4) 研究分担者  
太田 麻希子(OTA Makiko)  
立教大学・社会学部・助教  
研究者番号:20726088

(5) 研究分担者  
吉田 舞(YOSHIDA Mai)  
特定非営利活動法人 社会理論・動態研  
究所・研究部・研究員  
研究者番号:50601902

(6) 研究協力者  
KARAOS, Anna Marie  
Ateneo de Manila University・  
Professor